

1983(毎月1回)  
行

3月号

(村の面積)

332.60km<sup>2</sup>

発行所 福井県大野郡和泉村

## 広報

## い　　す　　み

(昭和58年2月1日現在)

## 村の人口

|     |        |
|-----|--------|
| 総人口 | 1,382人 |
| 男   | 699人   |
| 女   | 683人   |
| 出生  | 1人     |
| 死亡  | 2人     |
| 転入  | 0人     |
| 転出  | 3人     |
| 世帯数 | 441世帯  |



みんなで越美北線を利用しよう。



## 確定申告が間違つたときは

### 修正申告はできるだけ早く！



取扱いを受けますので、で

きるだけ早く提出してくださ

い。

なお、納める税額は納付す

るまでの期間について、延

滞税がかかります。

■税額を多く申告していたと  
きには、正しい金額にするた  
めの「更正の請求」をするこ  
とができます。

この請求がだされると、税

務署では内容を検討し、正当

と認められれば、納め過ぎの  
税金を還付することになつて

います。

■確定申告を忘れていたとき  
には、すぐに確定申告をして

ください。

期限後の確定申告も修正申  
告と同様、できるだけ早く提  
出すれば、加算税の面で有利

とくに、正しい金額にする  
ためには、修正申告をして

ください。

■詳しいことは、大野税務署

すれば、加算税の面で有利な  
調査を受ける前に進んで提出

(☎ .....六一一一八〇)

ちようちょうには貸してやる。  
つて言うんやつて。

「それならだちかん。私は三  
人はなかよしやで、これはど  
うもならん、ならほかへ行  
こう。」

「ああ、これはかわいい。あ  
のちようちょうはたいへん困  
つとるぞ。」

「あ、お日いさんがこんだそ  
の夕立を晴らしてくれたつて  
ね。それ

でこんだ  
ちようち  
ようは喜  
んで花か  
ら花へと

「青いちょうちようはとめて  
やるけど、赤や白には貸せら  
れん。」

### 赤・白・青のちようちょう

その⑥



赤、白、青のちようちょう  
がおつたつての。それで、花

から花へ  
ヒラヒラ  
と飛んで  
遊んどつ

い す み むかしばなし その⑥

たら夕立  
がきたん

やつて。それで赤いちようち  
ょうが赤い花のところへ行つ

て、「私ら三人は、夕立にあ  
つて困っているんやでどうか  
宿貸してくれ。」

つてその赤い花にたのんだら  
「おまえだけならないけど、  
青や白には貸せられん。赤い

やうが赤い花のところへ行つ  
て、「私ら三人は、夕立にあ  
つて困っているんやでどうか  
宿貸してくれ。」

つてその赤い花にたのんだら  
「おまえだけならないけど、  
青や白には貸せられん。赤い

「青いちょうちようはとめて  
やるけど、赤や白には貸せら  
れん。」

「青いちょうちようはとめて  
やるけど、赤や白には貸せら  
れん。」

「青いちょうちようはとめて  
やるけど、赤や白には貸せら  
れん。」

「青いちょうちようはとめて  
やるけど、赤や白には貸せら  
れん。」

## 火の用心 心で用心 目で用心

### 春の火災予防運動実施

三月十八日～三月三十一日

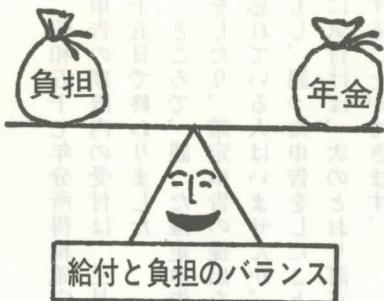
（ 村教委発行の「ふるさ  
と和泉」による。）

四月から五、八三〇円

変わります

国民年金では、生活水準の

合った年金を受給者の皆さんに支給するため、年金額の改善が行われています。



国民年金保険料が、四月から月額五、八三〇円に改定されます。

加入者の皆さんには、安い保険料にこしたことはあります。せんが、年金制度は、現在の受給者に年金を支給するだけではなく、「若い皆さんのがお年寄りになつても安心して年金が受けられるよう運営してい

この支払いに必要な財源は加入者が納めた保険料と国の負担金及び積立金の運用利子

かなければなりません。  
・そのためには、財政の安定  
が必要であり、今回の改正は  
これらに要する給付費とのバ  
ランスを考慮したうえでの必  
要最低限の引きあげとなつて

国民年金に当然加入しなければならない人で、収入が少ないなどの理由により、保険料の納付が困難なときは、保険料の納付を免除する制度もありますので、役場年金係でご相談ください。

## たいせつな その②

食べる能力をつけさせることも、たいせつです。

いろいろなものを食べる能  
は、けつして生まれたとき

からそなわっているものではありません。乳児期に練習しながら、だんだん身につけていくものです。生まれてすぐの赤ちゃんは、反射的にお乳を吸うのですが、これが、しだいにじょうずになり、離乳期から固形食をとることによつて、そしやくする能力を自然に身につけていきます。

|                         |      |    |
|-------------------------|------|----|
| やんが人間社会へ一步ふみだす糸口になるのです。 | 川勝   | 名前 |
| そのため、授乳や離乳食が            | ゆか   | 年齢 |
| 奥村                      | 九十三歳 | 住所 |
| 穂                       | 八十五歳 | 板倉 |

**授乳は母子関係のはじまりです。**

==人のうごき==

卷之三

ところが、この練習のさせかたがおすぎたり、やりかたがまずかったりすると、いつまでも、かめない子どもになってしまいます。このように「お乳を飲む」離乳食を食べる」ということは、たんに栄養をとっているだけではなく、食べかたの練習をしていません。

うまくすすまないと、母子の関係がスムーズにいかないことがあります。お母さんが夫婦のあいだのトラブルなどでイライテしているときは、赤ちゃんも食欲がなくなったりするなど、わるい影響をあたえます。お母さんの育児ノイローゼや、赤ちゃんのミルクがらいは、このようなことが多いのです。